

芽室町 多様な学び個別支援計画(アセスメントシート)

作成日:令和 年 月 日 学校名

連続5日の欠席(目安)より作成開始

(児童生徒) 名 前	性別	生年月日
(よみがな)		平成
		年 月 日

(保護者等) 名 前	連絡先
(よみがな)	

(当該学年担任) 名 前	中核となる校内組織

○学年別欠席日数等

年度										
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
出席しなければならない日数										
欠席日数										
特記すべき出席扱い										
① 相談室登校や放課後登校等										
② 教育支援センター										
③ 民間団体等機関										
④ ICTの活用										

○支援を継続する上での基本的な情報

特記事項(本人の強み、アセスメントの情報、家庭での様子、医療機関、ケース会議時の外部招集メンバー、特記すべき出席の形態等)

○当該学年の欠席日数等

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
出席しなければならない日数													
欠席日数													
特記すべき出席扱い													
① 相談室登校や放課後登校等													
② 教育支援センター													
③ 民間団体等機関													
④ ICTの活用													

○備考欄

芽室町 多様な学び 個別支援計画

名 前 _____	学 校 _____	学 年 _____
担 任 _____	_____	_____

ケース会議 開催日	令和 月 日	所属機関： 参加者	保護者： 学校：担任： : : : : : : : : : :
-----------	--------	--------------	--

添付情報・別紙資料	前回ケース会議（評価入り）・対応ステージチェック 活動記録・出席状況・その他（ _____ ）
-----------	--

確認事項	生活のリズム	
	日中活動・余暇	
	活動や登校に関する 本人の言動	
	医療・福祉 等	医療機関の利用 あり（ 病院 月 回 服薬あり なし） なし 児童相談所判定 あり（ 年 月） なし 発達検査 あり（ _____ ） なし 利用福祉制度（ _____ ）

特記するエピソード・ 情報 (家庭・学校・所属機 関・福祉等)	
--	--

		目 標	具体的な手立て:担当者:支援期間	成果・評価(月 日)
	居場所機能			
学習機能	(基礎学的)			
	体験的			
	復学機能			
	進路支援機能			

次回ケース会議の日程	令和 月 日	ケース会議日程調整担当者	
(校内回覧) 校長 教頭 学年主任 担任		交流学級担任 支援員 保管(生徒指導部)	

芽室町 多様な学び 個別支援計画

初期対応記入例

名前	芽室 太郎	学校	〇〇中学校	学年	2年生
担任	芽室 花子				
ケース会議 開催日	令和3年9月25日	所属機関：参加者	保護者：母 学校：担任・学年主任・教頭・ 教委：〇〇・〇〇・ 〇〇：〇〇・		
添付情報・別紙資料	前回ケース会議（評価入り） 対応ステージチェック 活動記録・出席状況・その他（ ）				
確認事項	生活のリズム	規則正しい生活ができています。土日は特に起床が早い。夜には「明日は学校に行く」と話して就寝するが、朝になると倦怠や強い行き渋りがある。			
	日中活動・余暇	週に1~2回登校。遅刻や早退も月に5日ほどある。ゲームや親の買い物への同行等、余暇に変わりはない。習い事（くもん：週2回、プール月2回）は継続的に通っている。			
	活動や登校に関する本人の言動	行き渋りの明確な理由は不明、本人も説明できず関係ないことを話したり黙り込む数名仲のよい友人がいる。遅刻や早退は体調不良を訴える。通院し服薬（漢方等）した時期もあるが、効果が見られないため現在は中断。			
	医療・福祉等	医療機関の利用 あり（ 病院 月 回 服薬あり なし なし ） 児童相談所判定 あり（ 年 月 ） なし 発達検査 あり（ ） なし 利用福祉制度（ ）			
特記するエピソード・情報（家庭・学校・所属機関・福祉等）	3歳6カ月児健診で発達のアンバランスさを指摘されたことがある。幼稚園では発達や行動を指摘されたことはない。				

	目標	具体的な手立て:担当者:支援期間	成果・評価(月 日)
居場所機能	相談室登校の場所を確保することで、登校日数の増加を目指す。	・まず相談室へ登校し、その後日課に応じて教室への参加を行う。 ・学年団、指導助手が相談室での様子や学習をフォローする。 (1ヶ月間)	
学習機能	(基礎的) 教科的 ・相談室での学習(国・数)できる環境を準備する。 ・タブレットでのAIドリル、プログラミングソフト、ブラウザ検索等学習活動が行える。	・相談室用プリントの準備:学年 ・相談室での学習支援:指導助手 ・タブレットで学習できるための説明・指導:担任 (1ヶ月間)	
	体験的 創作活動を設定し試行することで、早退の回数減少を目指す。	・本人が興味を持てる工作:アイロンビーズ、ペーパークラフト等:学年、指導助手	
復学機能			
進路機能支援			

次回ケース会議の日程	令和4年〇月ごろ	ケース会議日程調整担当者	
(校内回覧) 校長	教頭 学年主任 担任	交流学級担任 支援員	保管(生徒指導部)

芽室町 多様な学び 個別支援計画

中長期対応記入例

名前	芽室 太郎	学校	〇〇中学校	学年	2年生
担任	芽室 花子				

ケース会議 開催日	令和3年4月25日	所属機関： 参加者	保護者：母 学校：担任・学年主任・教頭・ 教委：〇〇・〇〇・ 〇〇：〇〇・
-----------	-----------	--------------	--

添付情報・別紙資料	前回ケース会議（評価入り） 対応ステージチェック 活動記録 出席状況・その他（
-----------	---

確認事項	生活のリズム	起床し、朝ごはんを母と一緒に食べることが継続できている。就寝は母の方が先に就寝するため把握できていないが、朝は数度の声掛けで起きられている。
	日中活動・余暇	教育支援センターゆうゆうへ週3日通所できている。イラストのYoutubeをよく見ている様子。図書館や買い物にはついてこない。時間を決めてゲームをしているが、それ以外の時間はヒマそうにしていることも多い。
	活動や登校に関する本人の言動	ゲームの通信で何人か学校の友達とかかわっている様子。家庭訪問で先生は会えている。家庭で学校の話はあまり出ない。
	医療・福祉 等	医療機関の利用 あり（ 病院 月 回 服薬あり なし） なし 児童相談所判定 あり（ 年 月 ） なし 発達検査 あり（R4.6.1 WISC FIQ90 ） なし 利用福祉制度（R4.10～放課後等デイサービスを利用 現在は利用していない ）

特記するエピソード・情報 (家庭・学校・所属機関・福祉等)	
----------------------------------	--

	目 標	具体的な手立て:担当者:支援期間	成果・評価(月 日)
場所機能	教育支援センターゆうゆう週3回通所継続	教育支援センターゆうゆう：〇〇：1カ月	
学習機能 (基礎的)	教育支援センターゆうゆうでAIドリルに取り組む、学校からのプリントに取り組む	AIドリル：〇〇：継続 学校からのプリント：〇〇：継続	
学習機能 体験的	・サッカー教室（ゆうゆう）〇月◎日 ・JR体験（ゆうゆう）〇月●日	教育支援センターゆうゆう：〇〇 教育支援センターゆうゆう：〇〇	
復学機能	・学校からのプリントに担任からメッセージ記載 ・家庭訪問 ・タブレットを介したプログラミング教材の使い方を、Meetを通じて技術家庭科教諭からアプローチしてみる。	プリントの配布と採点：担任：継続 家庭訪問：担任：継続 プログラミング教材：技術教諭：1カ月	
支援機能 進路支			

次回ケース会議の日程	令和4年〇月ごろ	ケース会議日程調整担当者	
(校内回覧) 校長	教頭 学年主任 担任	交流学級担任 支援員	保管(生徒指導部)